

新しいHACCP制度化への対応

(8)

NPO法人日本食品安全検証機構(JVO)

理事長代行 遠藤 洋一
理事 赤池 洋

危害リストの作成の実際

先々CCPとして見込まれるCCP候補について検討した。

危害リストの作成は、フローチャグラムに沿って危害が発生する恐れのある工程、それら工程における危害、その発生要因および予防措置を一覧表に示した危害要因分析の結果を目に見える形にする。GPセンター、食鳥処理場のどちらにも、原材料の一次汚染および加工製造工程の二次汚染をチェックして、予防手段としての危害リストを作成する。

GPセンター、食鳥処理場どちらと同じく6工程である。危害リスト(候補)数はどちらも13個のCCP候補である。そのうち受け入れ工程の危害リスト数は前者、後者どちらも8個のCCP候補となる(表1、2)。

衛生管理計画書の策定(段階2の3)

例をもって言及したい。

常性に優れた鶏群は、病下とも連動している。件に発展した事例である。

1) 危害リスト(CCP候補)の内容
ここでは、JVOが実証した49項目の危害リストについて引用する。HACCP導入手順に基づいて、日常のチェックリストやSSOP管理ができる項目を除き、最も危害度の高い項目に限って、工程の違いはあるに

「鶏群の健全性と農場の生産性」②「鶏群の肉用鶏でも同様である。優良鶏群は、下痢な差」——など、「統計学菌は、サルモネラ・インフラントリス(Salmonella Infantis)」と判明された。43人の原因食材68が、CDCは引き続き調査を続けるとしている。

「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

例をもちいて言及したい。

「鶏群の健全性と農場の生産性」②「鶏群の肉用鶏でも同様である。優良鶏群は、下痢な差」——など、「統計学菌は、サルモネラ・インフラントリス(Salmonella Infantis)」と判明された。43人の原因食材68が、CDCは引き続き調査を続けるとしている。

「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

例をもちいて言及したい。

「鶏群の健全性と農場の生産性」②「鶏群の肉用鶏でも同様である。優良鶏群は、下痢な差」——など、「統計学菌は、サルモネラ・インフラントリス(Salmonella Infantis)」と判明された。43人の原因食材68が、CDCは引き続き調査を続けるとしている。

「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

例をもちいて言及したい。

「鶏群の健全性と農場の生産性」②「鶏群の肉用鶏でも同様である。優良鶏群は、下痢な差」——など、「統計学菌は、サルモネラ・インフラントリス(Salmonella Infantis)」と判明された。43人の原因食材68が、CDCは引き続き調査を続けるとしている。

「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

でも2016年4月、「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

表1 GPセンターにおける危害リスト (例)¹⁾

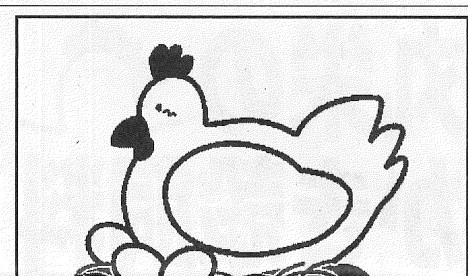
重大な危害が予測される工程	CCP候補
原卵の受入	産卵日の異なる卵の混入防止
	保管温度管理
	ロットの健全性の確認
	滞留卵の排除
	サルモネラ陰性農場の確認
洗卵殺菌	多剤耐性サルモネラ中毒
	治療薬・予防薬の使用履歴の確認
	ワクチン、投薬、消毒薬、殺虫剤、殺鼠剤の使用プログラムの確認
	次亜塩素酸Na濃度
紫外線殺菌	殺菌効果
賞味期限	産卵日から21日以内(25℃以下)
製品卵保管	保管温度・時間
出荷	出荷許可

Copy Right ©: NPO法人 日本食品安全検証機構

表2 食鳥処理場における危害リスト (例)¹⁾

重大な危害が予測される工程	CCP候補
生鳥の受入	異常鶏の確認
	体表汚染の確認
	ロットの健全性の確認
	サルモネラ陰性農場の確認
	多剤耐性サルモネラ中毒
湯漬け	出荷前の餌切時刻の確認
	治療薬・予防薬の使用履歴の確認
	ワクチン、投薬、消毒薬、殺虫剤、殺鼠剤の使用プログラムの確認
	湯温の確認
冷却	次亜塩素酸Na濃度の確認
内臓摘出	と体消毒の実施
製品保管	保管温度・時間の確認
出荷	出荷許可

Copy Right ©: NPO法人 日本食品安全検証機構



「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。

「薬剤耐性対策アクションプラン」を決定している。このたびのHACCP制度化に合わせて、生産段階においても薬剤耐性を前提に一層の適切な取り扱いが求められる。